



7.8
July Aug
2017
No.84



面接官はOB・OG

熊谷商高 3年生が模擬体験



本番さながらの雰囲気で行われた模擬面接—熊谷市広瀬の県立熊谷商業高校

生徒の就職活動に役立ててもらおうと、熊谷市広瀬の県立熊谷商業高校（橋本準一校長）が、120人の3年生を対象にした模擬面接が行

われた。生徒たちは緊張した面持ちで面接に臨み、本番さながらの雰囲気を経験するとともに、社会人の先輩からアドバイスを受け、気持ちを新たにしていた。

商業科と情報処理科を併設し、生徒の約半数が就職を希望する同校。約10年前から模擬面接を始め、面接官はOB・OGを中心に各業種の経営者が務めている。5日間で延べ25社が協力。1920（大正9）年創立の歴史と多彩な人材を輩出してきた同校の特色を生かした取り組みだ。

模擬面接は、生徒1人に対して面接官2人で実施。高校生活で頑張ったことや最近関心を持ったニュースなどが質問され、生徒は自らの思いや考えを伝えた。面接官は生徒の身だしなみや姿勢、言葉遣いなどをチェックし、面接後に評価を示した。

事務職を志望しているという商業科の女子生徒（18）は、「もつちよつと自分の言葉で話せるようにしたい」と分析。同校は「自分の考えていることをしっかりと表現し、言葉のキャッチボールを学んでほしい」としている。

（丹羽良平）

埼玉新聞
（6月26日）

右

6月12日（月）から一週間行われた面接練習について、埼玉新聞に取り上げられました。7月から本格的に活動が始まります。生徒達は緊張感を持って準備しております。

左

3年生課題研究『まなびや』販売実習の様子です。6月と11月の年二回、熊谷駅で行っております。生徒達が開発した商品を中心に、元気に笑顔で販売しました。

